

たかすリビングラボ 活動備忘集

令和元年(2019)度

この取り組みは、北九州市学術・研究振興事業調査研究助成事業「リビングラボを活用した高齢化に関する地域課題解決に向けた試行的実践活動」（北九州市立大学坂本毅 啓准教授）の一環として行われた。

高須リビングラボ工程表

	令和元年 8 月		9 月	10 月	11 月	12 月	令和 2 年 1 月		2 月	3 月
議 論 等	8/20(火) 16-18 時 準備会合 於：北九大		9/9(月) 15-17 時 1 回目ワークシ ョップ 於：高須地区内	10/25(月) 15-17 時 2 回目ワークシ ョップ 於：高須地区内	11/17(日) 9-13 時 搜索模擬訓練 於：高須地区内	12/12(木) 15-17 時 評価会合 於：高須 C	1/30(木) 14-16 時 次期方針会合 於：認介 C			
調 査		9/6(金) ヒアリング		10/15(火) ヒアリング						
N W			9/19(木) 東大研究会			12/19(木) 東大研究会				3/18(水) 東大研究会

この取り組みは、北九州市学術・研究振興事業調査研究助成事業「リビングラボを活用した高齢化に関する地域課題解決に向けた試行的実践活動」（北九州市立大学 坂本毅啓准教授）の一環として行われる。

リビングラボ活動 事前会合（備忘）

令和元年8月20日（火） 16時～

於：北九大ひびきのキャンパス N335 教室

本日のレジュメ

1. リビングラボでできそうなこと（柿添）
2. 今回の研究活動のこと（坂本先生）
3. 地域課題のとらえ方（香月会長）
4. 方向性の整理・到達点（全員）
5. スケジュール確認（全員）

1.リビングラボでできそうなこと

認知症支援・介護予防センター 柿添係長より

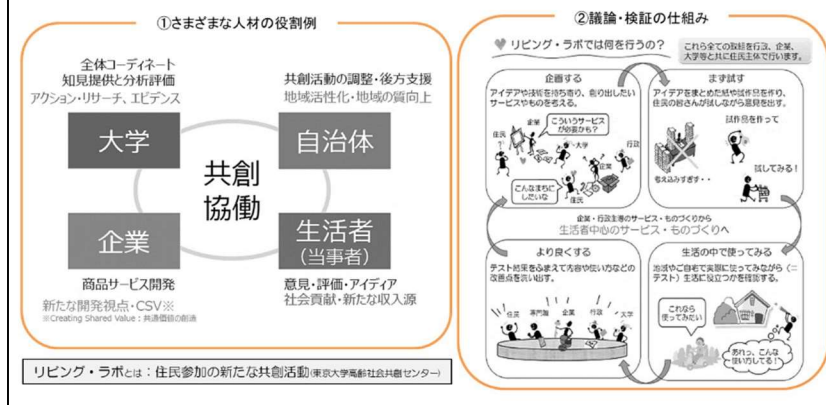
今回、高須地区のご協力をいただきたく、本会合を開催

産学官連携で地域課題解決を目指した取り組みである「リビングラボ」の説明

さまざまな人材が集い、議論を通じて新しいアイデアを想像する

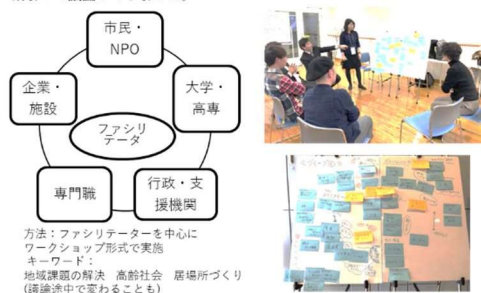


リビングラボってどういうもの？



北九州市でやってきたこと

リビングラボを北九州市でやれるのか？
集まって議論してみました。



セクター	参加実績
産	企業社員 クリエイター 施設経営者 マスコミ
学	社会学系研究者・学生 工学系研究者・学生
官	福祉系市職員 専門職(作業療法士、保健師等)
民	自治会長 ボランティア活動者 NPO役員 経済系3セク

➡ 多様なアイデアが創出している。

2.今回の研究活動のこと

北九州市立大 坂本先生より

地域課題の解決を実践するリビングラボ活動への協力を依頼
地域と共同で実施でき、役立つ活動であるよう期待



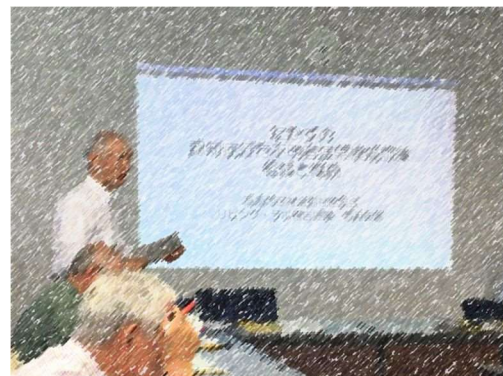
3.地域課題のとらえ方（香月会長）

高須地区社会福祉協議会 香月会長より

大学、行政などと共に課題を解決する活動には期待

高須地区のもつ地域課題を題材に実施していくこの取り組みを進めていきたい

会長より高須地区に関する説明



たかすの 認知症行方不明者搜索模擬訓練 経緯と継続

高須地区社会福祉協議会
リビング・ラボ報告提案 香月英彦

地域で取り組む認知症

- 序
- 1, 少子高齢社会と認知症
- 2, 第1回 たかす認知症行方不明者搜索模擬訓練
- 3, 第2回～第3回 継続
- 4, 第4回の新しい取り組みを目指して
- 展開

- 1) 高齢社会での認知症の地域での取り組み
- 2) 地域での「認知症」の共有
認知症予防 健康寿命の延伸
認知症介護 訓練による啓発と地域
- 3) 3回の訓練実績と4回目の新規とり組み

高須地区の元氣プラン
（高須・高須東・高須西・高須南・高須北・高須東南・高須東南・高須西南・高須西北）

ふれあい ええあう すこやかなまち 住みよい高須

生活のよりこみ

人と人とのふれあいを大切にする
人と人とのふれあいを大切にする

地域の発展を目指す
地域の発展を目指す

高須でくらしを豊かにする
くらしを豊かにする

高須のまちの発展戦略

生活のよりこみ

人と人とのふれあいを大切にする
人と人とのふれあいを大切にする

地域の発展を目指す
地域の発展を目指す

高須でくらしを豊かにする
くらしを豊かにする

高須のまちの発展戦略

生活のよりこみ

人と人とのふれあいを大切にする
人と人とのふれあいを大切にする

地域の発展を目指す
地域の発展を目指す

高須でくらしを豊かにする
くらしを豊かにする

高須のまちの発展戦略

生活のよりこみ

人と人とのふれあいを大切にする
人と人とのふれあいを大切にする

地域の発展を目指す
地域の発展を目指す

高須でくらしを豊かにする
くらしを豊かにする

高須のまちの発展戦略

生活のよりこみ

人と人とのふれあいを大切にする
人と人とのふれあいを大切にする

地域の発展を目指す
地域の発展を目指す

高須でくらしを豊かにする
くらしを豊かにする

高須のまちの発展戦略

生活のよりこみ

人と人とのふれあいを大切にする
人と人とのふれあいを大切にする

地域の発展を目指す
地域の発展を目指す

高須でくらしを豊かにする
くらしを豊かにする

高須のまちの発展戦略

生活のよりこみ

人と人とのふれあいを大切にする
人と人とのふれあいを大切にする

地域の発展を目指す
地域の発展を目指す

高須でくらしを豊かにする
くらしを豊かにする

高須のまちの発展戦略

生活のよりこみ

人と人とのふれあいを大切にする
人と人とのふれあいを大切にする

地域の発展を目指す
地域の発展を目指す

高須でくらしを豊かにする
くらしを豊かにする

高須のまちの発展戦略

生活のよりこみ

人と人とのふれあいを大切にする
人と人とのふれあいを大切にする

地域の発展を目指す
地域の発展を目指す

高須でくらしを豊かにする
くらしを豊かにする

高須のまちの発展戦略

生活のよりこみ

人と人とのふれあいを大切にする
人と人とのふれあいを大切にする

地域の発展を目指す
地域の発展を目指す

高須でくらしを豊かにする
くらしを豊かにする

高須のまちの発展戦略

生活のよりこみ

人と人とのふれあいを大切にする
人と人とのふれあいを大切にする

- ・高高齢者の7人に1人が認知症・お互いに助け合いましょう！
- ・たかすSOSネットワークを編成・認知症搜索模擬訓練を11月27日に実施
- ・ 全国の高齢者人口は、3,461万,総人口に占める割合は27.3%です。がんや心臓病にならぶ新しい生活習慣病「認知症」の予防・介護を考えましょう。
- ・ 高須地区の福祉のまちづくりを目指す高須元気プラン（高須地区小地域福祉活動第1次計画）推進委員会では「たかすSOSネットワーク」を編成し、認知症搜索模擬訓練を開催いたします。ご協力をお願いします。

(組 織)

高須地区社会福祉協議会が進めている「高須地区元氣プラン推進委員会」が
主体となり関係団体（部）と協働して実施します。

(事 業)

1. 行方不明者の捜索と保護 2. 被疑者の保護
3. 認知症高齢者の徘徊・啓蒙 3. その他、行政に必要となる

協働組織

高須地区まちづくり協議会 高須市民センター 高須地区自治会 31 区
3区 25区 民生委員 地区委員協議会 老人会 高須小・中学校 高須中学校
福祉支援委員会等・消防センター 高須地区の根元 N 北九州保健福祉局 若松
区夜間保健福祉センター 北九州社会福祉協議会 若松区保健 協議
警察署 消防署 郵便局 銀行 民衆機関 建設 協賛

(連絡網)

医 生 (住 民)
↓ ↓ ↓
市 政 府 市 民 防 衛 部 門
↑ ↑ ↑
たかす元氣プラン908ネットワーク (高須区社会福祉協議会)・市南区協
働組織

[illegible]

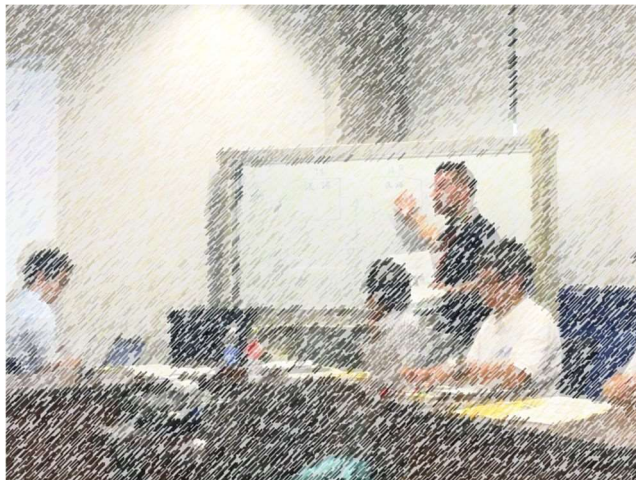
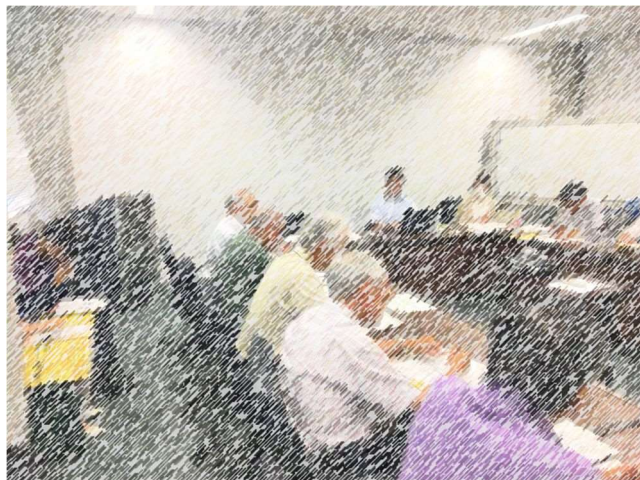
[illegible][illegible][illegible]

趣意	2025団塊世代の後期高齢化に向けて3回の訓練を基礎に「認知症」予防・介護への住民の意識の向上を図る。
訓練日時	令和元年11月17日（日）9：00～12：00
訓練場所	高須市民センターを中心に高須地域
検討事項	訓練方法の検討 東西南北チーム（サロンとタイアップ） 子どもレスキューチーム、ちょこつと応援タイチーム、認知症研修会チームの参加要請など・・

4.方向性の整理・到達点

スケジュール確認を含めて、全体にわたる実施概略を説明。

実施に係る意見交換



5.スケジュール確認

	8 月		9 月		10 月		11 月		12 月以降	
議 論	8/20(火) 16-18 時 準備会合 於：北九大		9/9(月) 15-17 時 1 回目議論 於：高須地区内		日付未定 2 回目議論		11/17(日) 9-12 時 模擬訓練 於：高須地区内		日付未定 評価	
調 査		ヒアリング		ヒアリング		ヒアリング		ヒアリング		

さまざまな人材が集まって議論すること 2 回程度実施

地域へのヒアリング 議論間に複数回実施

議論会場は、香月会長を通じて確保いただく。

高須リビングラボ第 1 回ワークショップ（備忘）

日時：令和元年 9 月 9 日(月) 15 時～17 時

場所：高須市民センター第 3 集会室(2 階) 若松区高須北 1 丁目 1 番 2 号

目的：産官学民による多様な視点からの議論を通じ新しいアイデアを創出すること（リビングラボ活動）で地域課題の解決を目指す

方法：ファシリテーターを中心にワークショップ形式で実施

課題：搜索模擬訓練に関する参加促進および訓練方法について

- ◇ 「搜索模擬訓練」は、認知症の人が地域で行方不明になったという仮定の下、地域住民が関係機関と一緒に行方不明者の搜索を行う訓練。
- ◇ 現在まで 3 回実施し、基礎的な行動や声掛け活動などを体験済み。
- ◇ 4 回目(11 月 17 日日曜午前)の実施に向け計画中。
- ◇ 新たに小学生の参加を計画している。
- ◇ マンネリ化していないか心配
- ◇ 様々な年代の住民に参加してもらいたい
- ◇ 持続的な活動として定着、有意義で充実した訓練となるためのアイデアを探る。

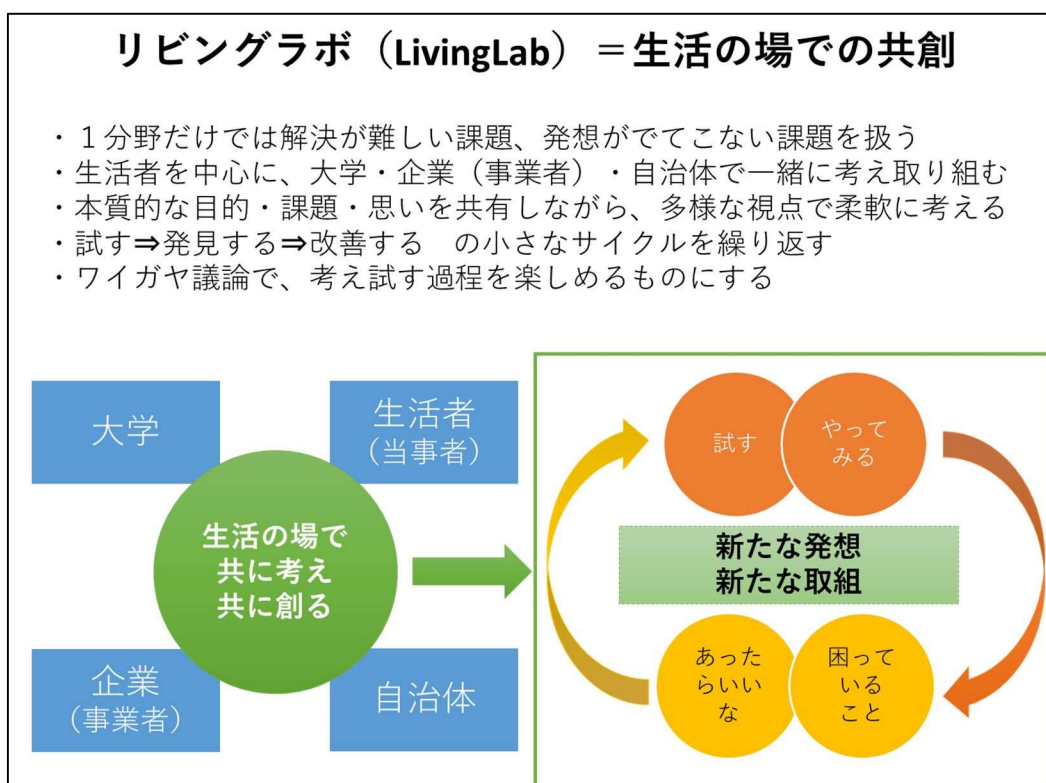
一連のスケジュール

今回はここ

	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月以降
議論等	8/20(火) 16-18 時 準備会合 於：北九大	9/9(月) 15-17 時 1 回目ワークショップ 於：高須地区内	日付未定 2 回目会合	11/17(日) 9-12 時 模擬訓練 於：高須地区内	日付未定 評価会合
調査		9/6(金) ヒアリング	ヒアリング	ヒアリング	

この取り組みは、北九州市学術・研究振興事業調査研究助成事業「リビングラボを活用した高齢化に関する地域課題解決に向けた試行的実践活動」(北九州市立大学 坂本毅啓准教授)の一環として行われる。

1. リビングラボの考え方の共有



第1回ワークショップ

●全体テーマ：「搜索模擬訓練」をバージョンアップする

- ・ 多様な人が参加できる・参加したくなる模擬訓練にしたい
- ・ （仮説）11月模擬訓練を、多様な人が体験できる場、参加促進のアイデアをもらえる場にしてはどうか？

●本日ワークショップテーマ：

- ・ 搜索模擬訓練の「目的」をいろんな視点から考える

○本日の流れ

- ① 模擬訓練を通じて、どんな地域になると良い？
- ② 色んな人の「あったらいいな」を考える
- ③ あったらいいなと模擬訓練がつながる可能性を考える
（模擬訓練にどんな人に参加して欲しいか？）

●ワークショップ参加のルール：

- ① 気軽に、しかし真剣に！！
- ② 多様な意見・発想を歓迎
- ③ よく耳を傾ける
- ④ まずは実現性は問わない
- ⑤ 皆さんが話せるようにご発言は短めに

2. 模擬訓練の目的の共有

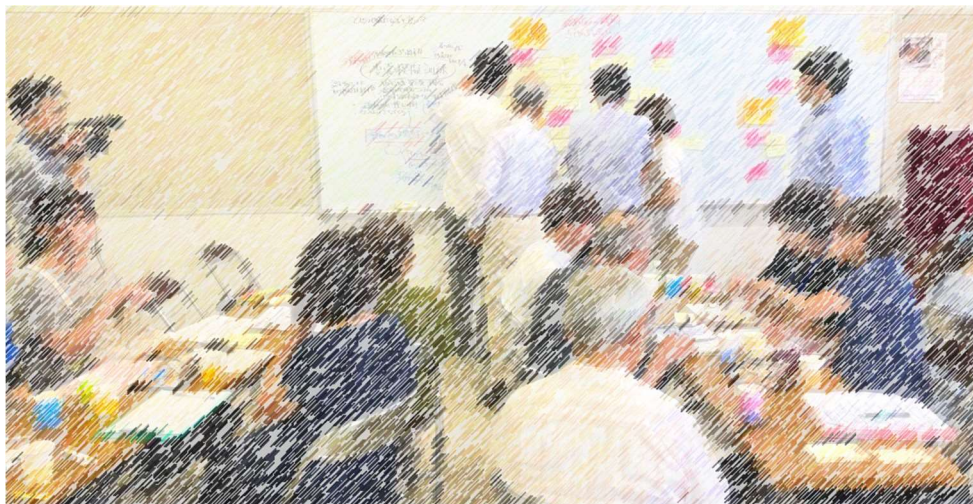
- ・ 高須地区搜索模擬訓練の説明（香月会長）
- ・ 「模擬訓練を通じて、どんな地域になると良いか」について、全体で意見交換



- ・ ホワイトボードに書き出して、「模擬訓練を通じて目指している地域像・模擬訓練の目指すもの」のキーワード整理

3. テーマ設定

- ・ キーワードから、「あったらいいな」を考えるためのテーマを設定する（例：助け合い、認知症のこと）
- ・ 「色んな人」の対象を前に書き出して整理する
- ・ 近くの人で3～4人で一組になる（地域の方だけでなく、大学・行政等混ざる感じにする）、テーマに沿った「あったらいいな」について、P-IT にできるだけ多く書き出す。



- ・「あったらいいな」の内容を確認しながら、搜索模擬訓練とのつながりや、つながるためのアイデアを考えていく。



4. 次回の案内

第2回ワークショップ開催予定

日時：10月25日(金)15時～

場所：高須南3丁目第1集会所（高須南3丁目・高須サンリブから南の団地へ
徒歩50m）

ヒアリング実施予定

第2回ワークショップに先立ち実施する。（日時未定。複数回実施。）

高須地区の皆さんのご協力、ヒアリング先のご推薦を依頼。

5. 参加者分類

分類	地域	大学	企業	行政	計
人数	7	5	5	5	22

令和元年 10 月
認知症支援・介護予防センター
情報・調整係長 柿添

高須リビングラボ第2回ワークショップ（備忘）

下記の通り、高須リビングラボ第2回ワークショップを開催します。ご参加をお願いします。

ご興味のある方や学生さんも自由に参加可能です。当日お誘い合わせの上お越しください。

記

日時：令和元年 10 月 25 日(金) 15 時～17 時

場所：高須南 3 丁目第 1 集会所（北九州市若松区高須南 3 丁目 2）

方法：ファシリテーターを中心にワークショップ形式で実施します。

課題：搜索模擬訓練に関する参加促進および訓練方法について

- ◇ 「搜索模擬訓練」の実施にあたり、認知症の人が地域で行方不明になったという仮定の下、地域住民が関係機関と一緒に行方不明者の搜索を行う訓練。
- ◇ 現在まで 3 回実施し、基礎的な行動や声掛け活動などを体験済み。
- ◇ 4 回目(11 月 17 日日曜午前)の実施に向け計画中。
- ◇ 新たに小学生の参加を計画している。
- ◇ マンネリ化していないか心配
- ◇ 様々な年代の住民に参加してもらいたい
- ◇ 持続的な活動として定着、有意義で充実した訓練となるためのアイデアを探る。

すすめかた

- ファシリテーターを配置し、課題に関して様々な考え方を議論します。
- 楽しい未来を期待するようなアイデアを持ち寄りましょう
- 人のアイデアは批判せず、むしろ便乗してみましょう。

一連のスケジュール

今回はここ

	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月以降
議 論 等	8/20(火) 16-18 時 準備会合 於：北九大	9/9(月) 15-17 時 1 回目ワークシ ョップ 於：高須 C	10/25(金) 15-17 時 2 回目ワークシ ョップ 於：第 1 集会所	11/17(日) 9-12 時 模擬訓練 於：高須地区内	日付未定 評価会合
調 査		ヒアリング	ヒアリング	ヒアリング	ヒアリング

この取り組みは、北九州市学術・研究振興事業調査研究助成事業「リビングラボを活用した高齢化に関する地域課題解決に向けた試行的実践活動」(北九州市立大学 坂本毅啓准教授)の一環として行われます。

※高須南 3 丁目第 1 集会所(上記地図内「高須県営第 1 集会所」)は、高須市民センターとは「高須サンリブ店」を挟んで反対位置の県営住宅内にあります。

開始

(ア) 柿添から趣旨説明、紹介など

- ✓ 9月に引き続き第2回目のワークショップの実施
- ✓ 搜索模擬訓練に向けたアイデアと今後のまちづくりを期待
- ✓ 模擬訓練以降も継続した議論を進めていきたい。

(イ) 香月会長から



- ✓ 11月17日実施の搜索模擬へ向けた議論に感謝
- ✓ マンネリ化が懸念される様々な地域活動への今までにない人々との新しいつながりに期待
- ✓ 模擬訓練の実施要項の説明。チーム編成などは当日参加者に応じて
- ✓ 訓練後の交流会長めに、意見や感想を聞く場

搜索模擬訓練の概要資料

令和元年 10 月吉日

実施要項

第 4 回 （素案）

たかす「認知症行方不明者搜索模擬訓練」

高須地区 SOS ネットワーク（高須地区社会福祉協議会）

世代交流でまちを元気に！認知症とともに生きる・お互いに助け合う地域を！

高須ニュータウンが誕生して 35 年！「認知症にやさしいまち」に！

第 4 回認知症搜索模擬訓練を開催いたします。

「福祉のまちづくり・たかす」を目標に、高須地区社会福祉協議会では、「高須元気プラン推進委員会」第 2 次（2019～2023）を推進しています。「たかす SOS ネットワーク」・地域包括ケアシステムの形成を目指します。

地域の皆様はじめ関係の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

目的

「第 4 回たかす認知症行方不明者搜索模擬訓練」を通して、高須地区社協が高須地域のまちづくり協議会や自治会、諸団体、今回は「たかすリビング・ラボ」（たかすの生活支援研究グループ）の協力を得て、高齢者や家族、子ども達の三世代の交流をはかりながら訓練をします。これにより、災害や生活支援など地域で発生した“SOS”に迅速に対応できる「しくみづくり」をすすめ、“より安全・安心な住まい・高須のまちづくり”の一助として実施します。

日時

令和元 年 11 月 17 日（日）9 時 30 分～12 時 00 分

場所

・高須市民センター 集合 （ 受付開始 9 時 00 分 ）

※ 雨天の場合も集合してください

・搜索地 高須地域（4 エリアに分けて）周辺

・当日の流れ

9 時 30 分 開始

挨拶 声の掛け方 進め方 ルール説明 実際の家族の声

10 時

「まち歩き」搜索出発各チーム

10 時 15 分

全体管理チーム出発

11 時 15 分

参加者市民センターへ戻り着く・飲み物配布などアンケート記入

11 時 30 分

交流会

12 時 00 分

解散

（組 織）

高須地区社会福祉協議会（高須地区元気プラン推進委員会）が、下記の関係団体（※）と協働して実施します。

※協働団体

高須地区まちづくり協議会 高須地区自治会（31 区・33 区・35 区） 民生委員・児童委員協議会 老人会 高須市民センター 高須小学校 高須中学校 認知症支援介護予防センター（リビング・ラボ） 認知症草の根NW 北九州市保健福祉局 若松区役所保健福祉課 北九州市社協 若松区社協警察署 消防署 郵便局 銀行 医療機関 施設 店舗他

参加申込書

氏 名	地区名（高須○、▽丁目）	電話番号	所属団体

11月2日までに、高須市民センターまたは地区の福祉協力員、所属団体代表に提出ください（詳細資料）

受付

・各エリアチームは、エリア地図と手配書、たかす SOS ネットワーク情報

・GPS チーム

・何かあれば高須市民センター本部 （ ）

（たかす SOS ネットワーク例）

・参加者は、氏名、町内名、電話番号、年齢・・・記入 着席して待つ

注意事項

1、1 チームに 2 名以上・・・「搜索模擬訓練中」ゼッケン装着

2、携帯電話持参

3、練習で通行人、量販店、コンビニなどで「見かけなかったか・・・」と聞く

4、不明者役の発見 心地の良い声の掛け方

ありがとうカードをもらい

高須市民センター本部

5、発見できなくても 11 時 15 分には市民センターに戻る

6、戻ったら受付でチェック

7、アンケート記入

8、訓練中の事故連絡は、

高須市民センター本部

（たかす SOS ネットワーク）

・搜索エリアの地図

・行方不明者情報のチラシ

・ゼッケン

・アンケート用紙

6、関係機関への事前連絡

町内、店舗、警察署、学校、行政機関

7、万一のそなえ 損害保険

8、当日の流れ

第 4 回 たかす認知症搜索模擬訓練実施要項

・日 時 令和元年 11 月 17 日（日）9 時 30 分～12 時 00 分

・場 所 拠点 高須市民センターと周辺

・内 容

1 集合場所（拠点）： 高須市民センター

2、チーム編成（案）

15～20 チーム

3～5 人 1 組（各チームへ要請）

① 子どもレスキュー隊 10～20 名

② 大学生チーム 10～20 名

③ 専門施設チーム 10～20 名

④ 高須地域チーム（自治会、老人会、D.r.末吉講座チームなど 50～60 名

認知症不明者役 10 名

専門家のかた

地域の方：交通安全指導者、ちょこつと応援隊のかた

子ども達に顔なじみのかた

2 搜索目標エリア（案）

・戸明神社 十南公民館・南憩いの家「まちあるき」グループ

・高須小・学童エリアグループ+みろく山「まちあるき」グループ

・サンリブエリアグループ+末吉病院、「まちあるき」グループ

・西憩いの家+西公園「まちあるき」グループ

・北公園エリアグループ+・西バス高住車庫「まちあるき」グループ

○各グループに リーダー、行方不明者役、搜索者グループ

3、広報 参加者募集 たかす SOS ネットワーク報、各団体、自治会回覧版

4、役割分担 5、当日必要物品の作成・確認

5、訓練の流れ・注意事項

・日 時 令和元年 11 月 17 日（日）9 時 30 分～12 時解散（9 時から受付）

・集合場所 高須市民センター （ 受付開始 9 時 ）

※ 雨天の場合も集合してください。

・当日のスケジュール（案）

9 時 30 分 開始 挨拶 声の掛け方 ルール説明 認知症家族のお話し

10 時 「まちあるき」各チーム出発

10 時 15 分 全体管理チーム出発

11 時 00 分 参加者 市民センターへ戻り着く・アンケート記入、飲み物配布など

11 時 30 分 交流会（「たかすまち歩き」「搜索」など）

12 時 00 分 解散

1）受付

・プログラム、地図、ゼッケン等の配布

・参加者の氏名、町名、電話番号記入

2）開会式

・主催者あいさつ

・本日の流れ、ルール、注意事項

認知症と思われる方への声掛け方法

発見時やトラブルの連絡方法

集合場所までの帰り方

3）訓練開始

手順

1、エリア毎のグループ分けとグループリーダーの決定

2、グループ内での注意事項確認

3、搜索開始

4、発見時連絡

5、捜査終了

3 から 5 まで約 1 時間

町内危険場所の把握

GPS 使用

4）アンケートの記入・講評・交流会

17

(ウ) ワークショップ開始 (ラボラトリオ南さん)



- ✓ 10月16日に実施した高須地区の関係者ヒアリング及びまち歩きの報告
(ラボラトリオ倉光さんより)
- ✓ 搜索模擬訓練への提案とそれに対する議論提起
(ラボラトリオ長島さんより)

ラボラトリオ提案

2019年10月25日

前回のワークショップ、および 現地ヒアリングを通しての提案

11月17日の搜索模擬訓練への提案

提案①：搜索模擬訓練のプログラムについて

「行方不明の人の情報（顔写真や特徴の載ったチラシ）」と
「認知症の人への接し方カード（啓発グッズ）」をもって、
啓発しながら認知症の人を探すチームを設けてはどうか。
（1チームでも、複数チームでOK）

- ①「小学生＋大学生＋地域の方」の混合チームにする
道案内や啓発活動で、みんながその場で活躍できる。
- ②決まった訪問先（チェックポイント）を訪ねてもらう
いくつかの家、事業所と事前に相談して、
そこでコミュニケーションをとってもらう。
⇒簡単な受け応えを用意する
- ③すれちがった人にもカードを渡ししながら、探してもらう
活動の広報、実際の啓発につなげる。

提案①：搜索模擬訓練のプログラムについて

プログラム案のイメージ



提案②：搜索模擬訓練で使えるツールについて

「認知症の人への接し方カード（啓発グッズ）」の内容は、
地域内の介護事業所の従業員・認知症講座を受けた人・大学生
と一緒に作ってはどうか。

- ①訓練時に周囲に渡す啓発グッズをつくる
簡単なものでも、多様な関係者でつくることを大切にする。
- ②地域の福祉・介護事業所に協力をしてもらう
専門的な協力を得ながら、地域と事業所の関係づくり、
事業所間の関係づくりにつなげたい。
- ③地域で認知症講座を受けた人にも手伝ってもらう
これまでのつながりを最大限に活かして、
これからの活動への布石としたい。

提案②：搜索模擬訓練で使えるツールについて

啓発グッズ案のイメージ

- ・専門的なポイントを押さえつつ..
- ・簡単な一枚ものでよく..
- ・普段も活用できるものになれば理想的..



提案③：開催後の感想・意見の共有について

第4回「搜索模擬訓練」に参加された方が感じたことなどを、
誰の目にも見えるような形で残して置けるとよいのではないかと。

例えば、模造紙・地図などを張り出して、
そこに当日の感想や、
あったらいいと思うものは？などの問いに対して
ポストイットに書き出して、張ってもらう。

帰られる前、交流会などの中で、
気軽に書いて、残してもらう。
⇒より良い問いを考えたい。



高須地区の関係者ヒアリング及びまち歩きの感想（中間報告）

2019.10.24 ラボラトリオ

1. ヒアリング・まちあるきの目的

- ・高須地区の地域特性を把握する
- ・多世代の住民や、地域内の企業・店舗・事業者が、高須地区に対してどのような印象や課題を感じているかを把握する（とくに高齢者以外の層に力をいれて）

2. 高須地区ヒアリング内容（中間報告）

高齢者

- ・趣味活動や講座への関心が高く、学ぶ意欲のある人が多い

小学生・中学生

- ・高須小学校の児童は人懐っこく、いろいろな人に気軽に声をかける素直な子供が多い
- ・高須小学校区と青葉小学校区に分かれているため、子ども同士の交流が図りにくい
- ・小学生は、サッカーや野球、塾などの習い事で忙しくしている
- ・小学生や中学生は、親や学校などから防犯上の理由で、寄り道をしないことなどを指導されている
- ・異年齢で集い、遊ぶことが減ってきている
- ・地域の方々が通学路に立って声掛けしてくださったり、イベントに来てくださったりすることで、子どもとのつながりができている
- ・放課後や土日の過ごし方が各家庭でバラバラになってきていて、みんなで一緒に何かすることが難しくなっている

子育て世代

- ・ひとり親世帯、共働き世帯、新しく引っ越ししてきた世帯が増えている
- ・未就学児の母親は児童館で、就学児の母親は学童などで子育てについての相談をしながら、友達作りをおこなっている
- ・子育てや親の病気、仕事のことなど親世代の悩み事は多い
- ・PTAの役員を担った人たちが、そのあと地域活動につながるものが少なくなっている

介護事業所

- ・利用者の家族が高須地区近辺に住んでいることが多い。親の面倒は自分たちでみなければと思っている人が多いような印象を持っている。
- ・親の介護に不安や悩みを抱えている人たちも増えてきている可能性がある
- ・事業所同士の横のつながりは強いというわけではない。

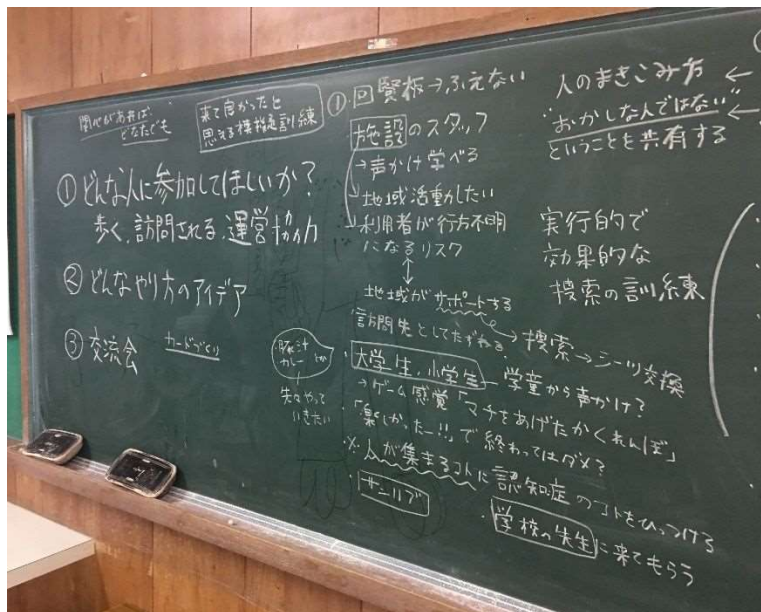
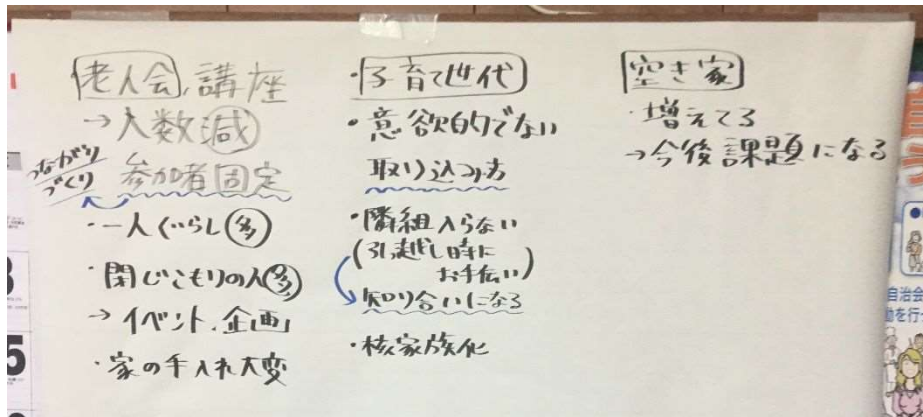
3. 高須地区まち歩きの影響

<地域のハードに関すること>

- ・県道 26 号（サンリブ前の通り）沿いには、飲食店やスーパー、コンビニ、病院などが多く並んでおり、一通りのものはそろそろ利便性の高いまち。
- ・印象として、診療所、美容院、塾、公園が多い。
- ・高須北・東の戸建て住宅地には、新しい住宅もある。起伏が激しい地形のせいか、自宅前に階段がある住宅が多い。
- ・庭の手入れがいき届いている家が多く見られた。手入れがなされていない家、空き家はあまり目立たなかった（ただし、奥まったところまでは足を運べず）。
- ・メンズサロン「ふら〜っと」の前まで立ち寄ったが、そのほかのサロンを含めて、実際にどのような活動を、どのような方々でされているか、気になった。

<地域の生活に関すること>

- ・高齢化率が高くなり、若い人が減少していると事前に聞いていたが、まちを歩くと、新しい家が建っていたり、児童館に集まる親子をみることができ、若い人たちも高須地区で暮らしを営んでいることを実感できる。
- ・若い人たちと地域での接点づくりは、工夫が必要であると感じた。若い人たちの普段の暮らしぶりがあまり分からないために、悩んでいることや困っていること、力を貸してほしいと思っていることなどが分からずにいると感じる。それが分かると、互いに力を持ち寄って支え合いのあり方が見えてくるかもしれない。
- ・いくつかのお店に挨拶まではさせていただいた。その場では、認知症に関することは、身近な困りごととして捉えていない様子だった。普段の営業の中で、認知症の関連を含め、どのような困りごとがあるか、機会があれば深掘りしたい。
- ・まちあるきの途中で、香月会長のお知り合いにお会いし、「（模擬訓練などに参加することを通して）自分の顔をいろいろな人に知ってほしい」とのコメントが印象的だった。



(エ) 次回予定など

1. 11月17日(日)開催予定の搜索模擬訓練に向けた打合せ、調査などを実施
(香月会長とラボラトリオ間にて調整)
2. 搜索模擬訓練への参加依頼

(オ) 参加者

分類	地域	大学	企業	行政	計
人数	5	7	4	4	20

実施要項**第 4 回 （素案）****たかす「認知症行方不明者搜索模擬訓練」****高須地区 SOS ネットワーク（高須地区社会福祉協議会）**

世代交流でまちを元気に！認知症とともに生きる・お互いに助け合う地域を！

高須ニュータウンが誕生して 35 年！「認知症にやさしいまち」に！

第 4 回認知症搜索模擬訓練を開催いたします。

「福祉のまちづくり・たかす」を目標に、高須地区社会福祉協議会では、「高須元気プラン推進委員会」第 2 次（2019－2023）を推進しています。「たかす SOS ネットワーク」・地域包括ケアシステムの形成を目指します。

地域の皆様はじめ関係の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

目的

「第 4 回たかす認知症行方不明者搜索模擬訓練」を通して、高須地区社協が高須地域のまちづくり協議会や自治会、諸団体、今回は「たかすりビング・ラボ」（たかすの生活支援研究グループ）の協力を得て、高齢者や家族、子ども達の三世代の交流をはかりながら訓練をします。

これにより、災害や生活支援など地域で発生した“SOS”に迅速に対応できる「しくみづくり」をすすめ、“より安全・安心な住みよい高須のまちづくり”の一助として実施します。

日 時 令和元年 11 月 17 日（日）9 時 30 分～12 時 00 分

場 所 ・高須市民センター 集合（受付開始 9 時 00 分）

※雨天の場合も集合してください

・搜索地 高須地域（4 エリアに分けて）周辺

・当日の流れ

9 時 30 分 開始	挨拶 声の掛け方 進め方 ルール説明 実際の家族の声
10 時	「まち歩き」搜索出発各チーム
10 時 15 分	全体管理チーム出発
11 時 15 分	参加者市民センターへ戻り着く・飲み物配布などアンケート記入
11 時 30 分	交流会
12 時 00 分	解散

（組 織）

高須地区社会福祉協議会（高須地区元気プラン推進委員会）が、下記の関係団体（※）と協働して実施します。

※協働団体

高須地区まちづくり協議会 高須地区自治会（31 区・33 区・35 区） 民生委員・児童委員協議会 老人会 高須市民センター 高須小学校 高須中学校 認知症支援介護予防センター（リビング・ラボ） 認知症草の根NW 北九州市保健福祉局 若松区役所保健福祉課 北九州市社協 若松区社協警察署 消防署 郵便局 銀行 医療機関 施設 店舗他

○問い合わせ 高須地区社会福祉協議会

第4回 たかす認知症搜索模擬訓練実施要項

- ・日時 令和元年 11 月 17 日（日） 9 時 30 分～12 時 00 分
- ・場所 拠点 高須市民センターと周辺
- ・内容

1 集合場所（拠点）： 高須市民センター

2, チーム編成（案）

15～20チーム

3～5人1組（各チームへ要請）

- ① 子どもレスキュー隊 10～20名
- ② 大学生チーム 10～20名
- ③ 専門施設チーム 10～20名
- ④ 高須地域チーム（自治会、老人会、Dr.末吉講座チームなど
50～60名

認知症不明者役 10名

専門家のかた

地域の：交通安全指導者、ちょこっと応援隊のかた

子ども達に顔なじみのかた

2 搜索目標エリア（案）

- ・戸明神社 + 南公民館・南憩いの家「まちあるき」グループ
- ・高須小・学童エリアグループ+みろく山「まちあるき」グループ
- ・サンリブエリアグループ+末吉病院、「まちあるき」グループ
- ・西憩いの家+西公園「まちあるき」グループ
- ・北公園エリアグループ+・西バス高住車庫「まちあるき」グループ

○各グループに リーダー、行方不明者役、搜索者グループ

3、広報 参加者募集 たかす SOS ネットワーク報、各団体、自治会回覧版

4、役割分担 5、当日必要物品の作成・確認

5、訓練の流れ・注意事項

- ・日時 令和元年 11 月 17 日（日） 9 時 30 分～12 時解散（9 時ら受付）
- ・集合場所 高須市民センター （ 受付開始 9 時 ）

※ 雨天の場合も集合してください。

・当日のスケジュール（案）

- 9 時 30 分 開始 挨拶 声の掛け方 ルール説明 認知症家族のお話し
- 10 時 「まちあるき」各チーム出発
- 10 時 15 分 全体管理チーム出発
- 11 時 00 分 参加者 市民センターへ戻り着く・アンケート記入、飲み物配布など
- 11 時 30 分 交流会（「たかすまち歩き」「搜索」など）
- 12 時 00 分 解散

参加申込書

氏 名	地区名（高須〇、▽丁目）	電話番号	所属団体

11月2日までに、高須市民センターまたは地区の福祉協力員、所属団体代表に提出ください
（詳細資料）

受付

- ・各エリアチームは、エリア地図と手配書、たかす SOS ネットワーク情報
- ・GPS チーム
- ・何かあれば高須市民センター本部
（たかす SOS ネットワーク）
- ・参加者は、氏名、町内名、電話番号、年齢・・・記入 着席して待つ

注意事項

- 1、1 チームに 2 名以上・・・「搜索模擬訓練中」 ゼッケン装着
 - 2、携帯電話持参
 - 3、練習で通行人、量販店、コンビニなどで「見かけなかったか・・・」と聞く
 - 4、不明者役の発見 心地の良い声の掛け方
ありがとうカードをもらい
高須市民センター本部
 - 5、発見できなくても 11 時 15 分には市民センターに戻る
 - 6、戻ったら受付でチェック
 - 7、アンケート記入
 - 8、訓練中の事故連絡は、
高須市民センター本部
（たかす SOS ネットワーク）
- ・搜索エリアの地図
 - ・行方不明者情報のチラシ
 - ・ゼッケン
 - ・アンケート用紙
- 6、関係機関への事前連絡
町内、店舗、警察署、学校、行政機関
 - 7、万一のそなえ 損害保険
 - 8、当日の流れ

1) 受付

- ・プログラム、地図、ゼッケン等の配布
- ・参加者の氏名、町名、電話番号記入

2) 開会式

- ・主催者あいさつ
- ・本日の流れ、ルール、注意事項
 - 認知症と思われる方への声掛け方法
 - 発見時やトラブルの連絡方法
 - 集合場所までの帰り方

3) 訓練開始

手順

- 1、エリア毎のグループ分けとグループリーダーの決定
- 2、グループ内での注意事項確認
- 3、搜索開始
- 4、発見時連絡
- 5、捜査終了
 - 3 から 5 まで約 1 時間
 - 町内危険場所の把握
 - GPS 使用

4) アンケートの記入・講評・交流会

たかす SOS ネットワーク・報-109 (R 元.11.17)

高須地区社会福祉協議会

第4回たかす認知症行方不明者搜索模擬訓練開催 R1. 11. 17

小春日和にめぐまれて元気に「訓練」真剣に「いのち」の学習・和やかに「交流」

第4回たかす認知症行方不明者搜索模擬訓練が小春日和の11月17日9:30開催。高須の住民を中心に自治会の組長さんや北九州市立大の支援などもあり100名を超える盛況でした。



ごあいさつ

・長寿を謳歌できる時

代の課題・生活習慣病やがんの予防・介護と同じように、「認知症」を正しく理解。「いのち」を大切にして病気に優しいまちに！第4回の訓練を実施「たかす SOS ネットワーク」の充実を目指します。本日の認知症役7人（岩田、森田、眞熊、山品、三浦、中村、森）のご紹介（香月実行委員長・右上写真）山本総合司会（横写真）



・若松区の認知症行方不明者など搜索依頼は年間60件を超します。警察犬を使った搜索。遠方に出かける方、以外と自宅付近にいる場合もある。110番へ連絡を。（若松警察署川口生活安全課長）



・搜索訓練を評価。事故の緊急連絡119番を。安全な訓練を・・・。（若松消防署ひびきの分署）



・熱演！若松区社協の寸劇・・怒りには反発！視線をあわせて優しい対応を！



写真

左上（認知症不明者情報）右上（古園井食進指導で福祉協力員が前日から交流会用カレーづくり奮闘！）

左横（渡辺事務局長を中心に受け付け、山口次長、高崎会計前田副委員長）

さあ！捜索隊 17 グループ（地域 3-4 人と施設・行政・大学の専門家などを混合）出発。

前田副委員長の音頭で捜索開始
力を合わせて不明者捜索！



情報を分析して高須の 7 方向を捜索。 7 人の認知症役もそれぞれ工夫して対応！

発見！



驚かさないように問いかけ



グランドゴルフに来たのにだれも居ない？
途方に暮れる認知症不明者

どこに居るのかわからない・目線をあわせて





本部で報告受付

みんなと一緒におばあちゃんを発見！
帰宅



報告・検討会 ワールド・カフェ



認知症不明者役と捜索グループの報告・検討会



認知症サポーター講習会



- ・新時代に即応した認知症を学ぶハンドブック
- ・現場の対応は、「110 番」
- ・認知症患者 39,245 人（2017 年）
- ・不明者 118 件 死亡 9 件
- ・介護保険を申請する前の人に注意
- ・介護マークに注意
- ・90 歳代で 2 人に 1 人認知症
- ・認知症とともに生きる宣言
- ・助けてといえるうちに！

（中村地域支援コーディネーター9）



市福祉局松本係長から代表で島村さんへ
認知症サポーター授与式



（坂本先生）

総評（坂本北九州市立大准教授）

- ・第4回の訓練に敬意。「継続が地域の力に」
- ・地域の連携が薄れる時代に警鐘！
大切な実践の訓練
- ・AI がどんなに進もうとも最後は人間同士の支えが要
- ・訓練の今後の進化に期待

訓練・学習会閉幕

（田代副委員長）

手作りのカレーライスを囲んで交流会



なごや
かに交
流・・・

高須地区のみなさん、行政、大学などご参加ご協力ありがとうございました、（参加者名簿参照）

令和元年 12 月
認知症支援・介護予防センター
情報・調整係長 柿添

高須リビングラボ評価会合（第 3 回ワークショップ）備忘

下記の通り、高須リビングラボ評価会合（第 3 回ワークショップ）を開催します。ご参加をお願いします。

ご興味のある方や学生さんも自由に参加可能です。当日お誘い合わせの上お越しください。

記

日時：令和元年 12 月 12 日(木) 15 時～17 時

場所：高須市民センター第 1 集会室 若松区高須北 1 丁目 1 番 2 号

方法：ファシリテーターを中心にワークショップ形式で実施します。

課題：

「認知症行方不明者搜索模擬訓練」＋高須リビングラボ ここまでの振り返り

☆ 今回の搜索模擬訓練はどうでしたか。実施までのプロセスも含め、いつもの違いはありましたか？

☆ これまでの流れを踏まえ、今後大学や企業を巻き込んで、一緒に何かするならば、どのようなことをしてみたいですか？

すすめかた

- ファシリテーターを配置し、課題に関して様々な考え方を議論します。
- 楽しい未来を期待するようなアイデアを持ち寄りましょう
- 人のアイデアは批判せず、むしろ便乗してみましょう。
- 「みんなの意見」は案外正しいのですから

一連のスケジュール

今回はここ

	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
議 論 等	8/20(火) 16-18 時 準備会合 於：北九大	9/9(月) 15-17 時 1 回目ワークシ ョップ 於：高須 C	10/25(金) 15-17 時 2 回目ワークシ ョップ 於：第 1 集会所	11/17(日) 9-12 時 模擬訓練 於：高須地区内	12/12(木) 15-17 時 評価会合 3 回目ワークシ ョップ 於：高須 C
調 査		ヒアリング	ヒアリング	ヒアリング	

この取り組みは、北九州市学術・研究振興事業調査研究助成事業「リビングラボを活用した高齢化に関する地域課題解決に向けた試行的実践活動」(北九州市立大学 坂本毅啓准教授)の一環として行われます。

サンリブ高須から高須市民センターまでは徒歩約 10 分です。

ワークショップ開始

今回の検索模擬訓練はどうでしたか。実施までのプロセスも含め、いつもの違いはありましたか？

香月会長より搜索模擬訓練の報告

- 第4回の訓練
- 106名の参加があり減少に歯止め
- 7名の被捜索者を配置
- 警察も最後まで参加
- 訓練後カレー食とワールドカフェ
- 実際の介護者も参加あり
- 真剣にやることの大切さあらためて実感

[illegible]

アンケート結果報告（北九大坂本研究室芹田氏より）

- 男性参加多いのは驚き
- 危険場所の自由記述多い
- 住民の観察力高いと感じた
- 昼間の訓練なのに街灯の問題指摘あり。
- 普段からよく見ている証左
- 参加感想は悪いが無い



R1.11.17

認知症行方不明者を探す模擬訓練メモ・アンケート

1

あなたは ① 男性 ② 女性

2

お住まいの地域は 高須 ① 東 ② 西 ③ 南 ④ 北 ⑤他

3

あなたは ① 地域住民 ② 介護関係 ③ 行政関係 ④ その他（ ）

4

年齢 ①30歳代 ②40歳代 ③50歳代 ④60歳代 ⑤70歳代 ⑥80歳代 ⑦その他（ 歳）

5

この捜索訓練の参加は ① 初めて ② 2回目 ③ 3回目 ④ 4回目

6

認知症サポーターのお話しは ① よくわかった ② 少しわかった ③ あまりわからない

7

まち歩きの実際の捜索訓練では
1) 捜索場所はどこでしたか
①高須公園 ②戸明神社 ③南懸いの家 ④サンリブ ⑤西懸いの家 ⑥北公園 ⑦バス停
2) 行方不明者にあいましたか
①はい（ 回）→下記3)にお進みください ②いいえ →問7にお進みください
3) 行方不明者への声かけや対応はスムーズにできましたか？
①よくできた ②少しできた ③分からないことが多い
4) リーダーへの連絡はスムーズに出来ましたか？
①出来た（ 回） ②できなかった

8

まち歩き捜索をしていて危険だと感じた場所や状況がありましたか？
① あった ② なかった
具体的な危険場所や状況を書いてください

9

捜索模擬訓練には、今後どのような人に参加してもらおうかと思いませんか？
「記入例：親の介護をしている人、子育て世代、介護事業所、コンビニの従業員 など」

10

4回目の捜索模擬訓練でしたが、お気づきの点・改善点・感想など、ご遠慮なくお願いします。

ご協力ありがとうございました。
お近くの学生さんへお渡しください

高須 SOS ネットワーク（高須地区社会福祉協議会）

アンケート結果（集計：北九州市立大字坂本研究室）

回答数：74
性別 男性 女性
34人 39人

居住地域 東 西 南 北 他
18人 13人 13人 9人 19人

属性 地域住民 介護関係 行政関係 その他
51人 4人 6人 12人

年齢 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代 80歳代 その他
7人 6人 6人 16人 24人 6人 7人

参加回数 初めて 2回目 3回目 4回目
32人 16人 10人 14人

7-1 捜索場所 ①高須公園 ②戸明神社 ③南懸いの家 ④サンリブ ⑤西懸いの家 ⑥北公園 ⑦バス停
(複数回答あり) 23人 11人 6人 14人 11人 9人 9人

7-1 捜索場所数 1か所 2か所 3か所
56人 6人 5人

7-2 行方不明者の発見 はい(1回) はい(2回) はい(3回) いいえ
45人 11人 4人 1人

7-3 声かけはスムーズにできたか よくできた 少しできた 分からないことが多い
37人 24人 1人

7-4 リーダーへの連絡はスムーズか 出来た できなかった
53人 2人

7-4 リーダーへの連絡回数 1回 2回 3回
46人 4人 4人

8 危険な場所への気づき あった なかった
22人 42人

北九大坂本先生より分析

- 参加頻度増えるほど危険場所の指摘が減少
- 同、声掛けはうまくできたは増加
- 年代別では4、50代できない率多い

35

討論（抜粋）



- 自治会関係者の参加多くよかった
- 施設からの参加者の声掛けがよい参考になる
- グループリーダーから発見通報やり方がよくわからないようだった
- 遠い箇所に被搜索者を配置は発見時間かかります
- 大学生の参加は活気が出る。
- 地元の若者参加ないのはこれから課題
- 様々な人の参加してもらうための仕掛けが大切
- SOS ネットワークのチラシ配布とても喜ばれた
- 実施にアイデア無くりビングラボの議論は適時
- 今まで振り返りやっていないこの回はありがたい



これまでの流れを踏まえ、今後大学や企業を巻き込んで、一緒に何かするならば、どのようなことをしてみたいですか？



議論（抜粋）

- 地元の企業（サンリブや銀行支店など）認知症の方への対応に必要と感じる
- クリーニング店などの商店にも
- 企業寮もあり若者参加になる
- 福祉機器の情報知りたい
- NPO の活動などともできるのでは
- (大学より)研究者は事前提案より事後分析で使ってもらう
- (大学より)サロンに関しての研究などもお願いしたい



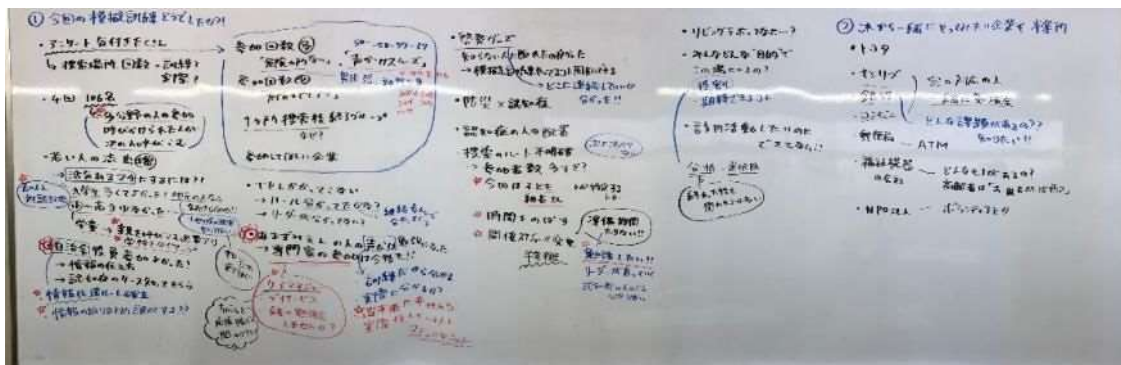
その他

- 本リビングラボは大学研究に利用させていただくことのご了解
- 今後継続したリビングラボ活動をお願い

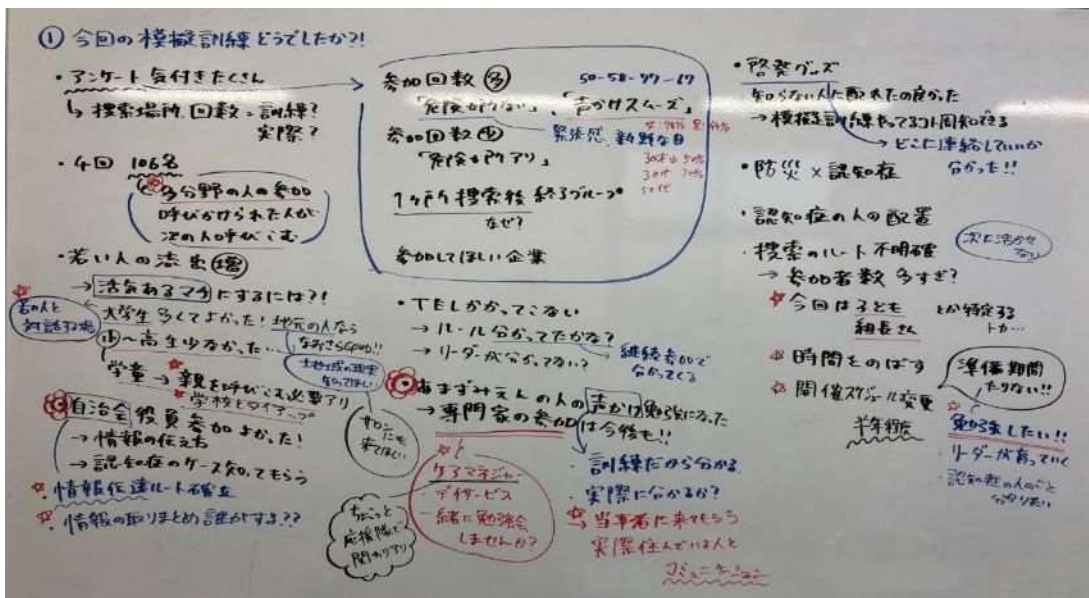
参加者

分類	地域	大学	企業	行政	計
人数	7	6	3	4	20

板書記録



左側



右側

